

事業概要報告書

事業名	五島列島ジオパーク構想地におけるジオツーリズムの展開に関する実証的研究
事業実施者	深見聡(長崎大学環境科学部准教授)
事業期間	令和 2 年 8 月 1 日 ～ 令和 3 年 2 月 28 日
事業結果の概要	1.先行研究による文献調査 わが国のジオパーク認定地のうち、本地域と同様に島嶼部の認定ジオパークをはじめ国立公園・国定公園等におけるジオツーリズムの展開について、その特性(特筆すべき成果と課題)を把握した。その上で、五島列島ジオパーク構想地でのこれまでのジオツーリズムに関する取り組み等を整理し、生物文化多様性を踏まえた観光地理学の視点から五島列島ジオパーク構想地におけるジオツーリズムのあり方について考察した。 2.フィールドワークの実施 1.を踏まえ、五島市市役所へのヒアリング調査や、福江島、久賀島のジオサイト候補地並びにその関連地(久賀島の集落等)、桜島・錦江湾ジオパーク、自然資源を活かした島嶼観光に取り組む対馬において地域住民等への参与観察や聞き取り調査を実施した。 3.まとめと成果の公表 1.と 2.の成果をもとに、2020 年 12 月刊行の『日本観光研究学会全国大会学術論文集』で論文を公表した。また、日本地理学会誌『E-journal GEO』へ論文を投稿し、2021 年 3 月に掲載見込みである。
事業の考察	本助成事業により、五島列島ジオパーク構想に対するジオツーリズムの一層の推進に必要な課題を一定程度明らかにできた。また、類例地域への調査を通して、本構想の現状や展望を相対化し俯瞰的に把握できた点は、今後の研究においても継続していきたい。一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、複数名でのフィールドワークの見送りや調査回数の確保の点で予定変更を余儀なくされた。そのため、五島列島ジオパーク構想地でのジオツーリズムに関する調査は、経年的に実施する等、今後のフォローアップにも取り組んでいく。
備考	調査・研究事業であるため、別途資料として上述の論文 2 編について提出する。

(注) 事業の実施が分かる写真を添付してください。

(注) 調査・研究事業については、詳細が分かる資料を別途提出してください。